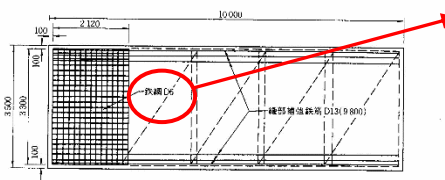
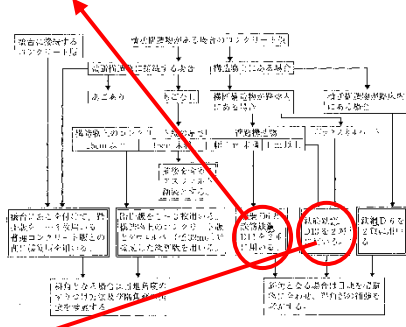


舗装設計施工指針 (H18.2) 正誤表 [1/4]

頁	箇所	誤	正																												
38	下から3行目	表-3.6.4	表-3.6.3																												
65	下から12行目	② 吊り金具、・・・高さが5mm以下	② 吊り金具、・・・高さを5mm以下																												
81	表-3.6.2 粒度調整砕石の透水係数の欄	「 $2 \times 10^{-6} \sim 6 \times 10^{-2}$ 」	「 $2 \times 10^{-6} \sim 6 \times 10^{-4}$ 」																												
82	下13行目	適切な補修の設計を行うことが必要となる。	適切な補修の設計を行うことが必要となる。																												
83	表-3.6.3	<p>下一段の罫線の区切り</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">下層路盤</td> <td>クラッシュラン、鉄鋼スラグ、砂など</td> <td>0.25~0.15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>セメント安定処理および石灰安定処理</td> <td>0.25~0.15</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">セメントコンクリート版</td> <td>破損の状態が軽度または中度の場合</td> <td>0.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>破損の状態が重度の場合</td> <td>0.85~0.5</td> <td></td> </tr> </table>	下層路盤	クラッシュラン、鉄鋼スラグ、砂など	0.25~0.15		セメント安定処理および石灰安定処理	0.25~0.15		セメントコンクリート版	破損の状態が軽度または中度の場合	0.9		破損の状態が重度の場合	0.85~0.5		<p>「セメントコンクリート版」は「下層路盤」に含めない。</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">下層路盤</td> <td>クラッシュラン、鉄鋼スラグ、砂など</td> <td>0.25~0.15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>セメント安定処理および石灰安定処理</td> <td>0.25~0.15</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">セメントコンクリート版</td> <td>破損の状態が軽度または中度の場合</td> <td>0.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>破損の状態が重度の場合</td> <td>0.85~0.5</td> <td></td> </tr> </table>	下層路盤	クラッシュラン、鉄鋼スラグ、砂など	0.25~0.15		セメント安定処理および石灰安定処理	0.25~0.15		セメントコンクリート版	破損の状態が軽度または中度の場合	0.9		破損の状態が重度の場合	0.85~0.5	
下層路盤	クラッシュラン、鉄鋼スラグ、砂など	0.25~0.15																													
	セメント安定処理および石灰安定処理	0.25~0.15																													
セメントコンクリート版	破損の状態が軽度または中度の場合	0.9																													
	破損の状態が重度の場合	0.85~0.5																													
下層路盤	クラッシュラン、鉄鋼スラグ、砂など	0.25~0.15																													
	セメント安定処理および石灰安定処理	0.25~0.15																													
セメントコンクリート版	破損の状態が軽度または中度の場合	0.9																													
	破損の状態が重度の場合	0.85~0.5																													
84	下から6行目	(6) 補修断面の決定	(5) 補修断面の決定																												
85	上から1行目	(7) 設計上の留意点	(6) 設計上の留意点																												
106	下から3行目	開粒度アスファルト混合物	開粒度アスファルト混合物 (13)																												
121	下から2行目	タイバーアッセンブリ	タイバーアセンブリ																												
126	表4-8-4の3列2段目 上から5行目	小粒系骨材露出舗装	小粒径骨材露出舗装																												
135	上から15行目	環境保全・改善	環境の保全と改善																												
137	上から2行目	衝撃を測定する手法	衝撃を測定する方法																												
140	上から19行目	凍上抑制対策	凍上対策																												
149	上から1行目	発注者は発注工事毎	発注者は発注工事ごと																												
173	付表-2.2 5列2段目	$(\log_{10} X_{wi} - \log_{10} X_0) 2$	$(\log_{10} X_i - \log_{10} X_0) 2$																												
193	上から4,6,7行目 式および説明文	a_i , h_i	iを下付き文字に: a_i , h_i																												
197	付表-5.1	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">セメント・コンクリート版の設計</th> </tr> <tr> <th>設計基準曲げ強度</th> <th>版厚</th> <th>鉄網</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">4.4MPa (3.9MPa)</td> <td>15cm (20cm)</td> <td rowspan="4">原則として使用する。 3kg/m²</td> </tr> <tr> <td>15cm (20cm)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">4.4MPa</td> <td>25cm</td> </tr> <tr> <td>28cm</td> </tr> <tr> <td>30cm</td> </tr> </tbody> </table>	セメント・コンクリート版の設計			設計基準曲げ強度	版厚	鉄網	4.4MPa (3.9MPa)	15cm (20cm)	原則として使用する。 3kg/m ²	15cm (20cm)	4.4MPa	25cm	28cm	30cm	2を上付き文字に 3kg/m ² ⇒3kg/m ²														
セメント・コンクリート版の設計																															
設計基準曲げ強度	版厚	鉄網																													
4.4MPa (3.9MPa)	15cm (20cm)	原則として使用する。 3kg/m ²																													
	15cm (20cm)																														
4.4MPa	25cm																														
	28cm																														
	30cm																														
200	上から5行目	段落の始まりなのにスペースが無い 横収縮目地の設置間隔は・・・	スペースを入れる □横収縮目地の設置間隔は・・・																												
202	付表-6.2.2 2列4段目の欄	(10)+20+325+5@40+32.5+20+(10)	(10)+20+32.5+5@40+32.5+20+(10)																												
204	付図-6.2.4	(誤) 鉄鋼→(正) 鉄網																													
205	上から2行目	鉄筋量は1m ³ につき	鉄筋量は1m ² につき																												

舗装設計施工指針 (H18.2) 正誤表 [2/4]

205	付図-6.3.1	 <p>(誤) 鉄鋼 D6 → (正) 鉄網 D6</p>															
206	上から 1 行目	付付図-6.4.2	付図-6.4.2														
206	付図-6.4.1	<p>(誤) 鉄鋼 D6 と鉄筋鉄鋼 D13 → (正) 鉄網 D6 と鉄筋鉄網 D13</p>  <p>(誤) 鉄筋鉄鋼 D13 を 2 層に用いる → (正) 鉄筋鉄網 D13 を 2 重に用いる</p>															
209	付式(7.1.2)	括弧が欠落 $N = \sum_{i=1}^n (N_{17} \times 365 \times a_i)$	括弧を追加 $N = \sum_{i=1}^n (N_{17} \times 365 \times a_i)$														
214	付表-8.1.2 4 列 5 行目	<table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td colspan="2">舗装用素材</td></tr> <tr><td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">骨材</td><td>砕石</td></tr> <tr><td>鉄鋼スラグ</td></tr> <tr><td>スクリーニングス</td></tr> <tr><td>ファイバー</td></tr> </table>	舗装用素材		骨材	砕石	鉄鋼スラグ	スクリーニングス	ファイバー	<table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td colspan="2">舗装用素材</td></tr> <tr><td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">骨材</td><td>砕石</td></tr> <tr><td>鉄鋼スラグ</td></tr> <tr><td>スクリーニングス</td></tr> <tr><td>ファイバー</td></tr> </table>	舗装用素材		骨材	砕石	鉄鋼スラグ	スクリーニングス	ファイバー
舗装用素材																	
骨材	砕石																
	鉄鋼スラグ																
	スクリーニングス																
	ファイバー																
舗装用素材																	
骨材	砕石																
	鉄鋼スラグ																
	スクリーニングス																
	ファイバー																
225	付表-8.1.15 付着度の欄	2/3 以下	2/3 以上														
226	付表-8.1.16 MS-1 の凍結安定度の欄	粗粒子、塊のないこと	MS-1 の凍結安定度の欄の記述「粗粒子、塊のないこと」を削除し、PKR-S-2 の凍結安定度の欄へ移動														
240	付図-8.2.1 2 番目の項目欄	材料の選定(材料試験) アスファルト、骨材、フィラー	素材の選定(素材の品質確認試験) 瀝青材料、骨材、フィラー														
243	付図-8.2.3 右下の図	空間率	空隙率														
247	付図-8.2.4 11 番目の項目欄	水セメント比を決定	水セメント比の決定														
247	付図-8.2.4 最後の項目欄	TND	END														
251	上から 5 行目	f t 28	f t ₂₈														
253	付表-8.2.8	セメント C の ④-2 の欄	140	93.7													
253		セメント C の ④-3 の欄	140	295													
256	付図-8.2.7 セメント水比の右端の目盛り	1.4	2.6														
257	付表-8.2.11 (6)	実績率	実績率														
257	付表-8.2.11 (7)	AE 助剤	AE 助剤 (商品名を記入)														
273	付表-9.2.1 4 列 1 段目	等値換算係数 an	等値換算係数 a														

舗装設計施工指針 (H18.2) 正誤表 [3/4]

278	付表-9.2.7	アスファルト舗装とコンクリート舗装に再生セメント・瀝青安定処理を追加																																																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>工法・材料</th> <th>修正CBR %</th> <th>一軸圧縮強さMPa</th> <th>マージナル安定度KN</th> <th>その他の品質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">アスファルト舗装</td> <td>再生粒度調整碎石</td> <td>80以上 [90以上]</td> <td></td> <td></td> <td>PI4以下</td> </tr> <tr> <td>再生加熱アスファルト安定処理</td> <td></td> <td></td> <td>3.43以上</td> <td>フロー値10~40 (1/100cm)</td> </tr> <tr> <td>再生セメント処理</td> <td></td> <td>材令10日 2.9</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>再生石灰処理</td> <td></td> <td>材令7日 0.98</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>再生セメント・瀝青安定処理</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>一次変位量5~30 (1/100cm) 残留強度率65%以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">コンクリート舗装</td> <td>再生粒度調整碎石</td> <td>80以上 [90以上]</td> <td></td> <td></td> <td>PI4以下</td> </tr> <tr> <td>再生加熱アスファルト安定処理</td> <td></td> <td></td> <td>3.43以上</td> <td>フロー値10~40 (1/100cm)</td> </tr> <tr> <td>再生セメント処理</td> <td></td> <td>材令10日 2.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>再生石灰処理</td> <td></td> <td>材令7日 0.98</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>再生セメント・瀝青安定処理</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>一次変位量5~30 (1/100cm) 残留強度率65%以上</td> </tr> </tbody> </table>				項目	工法・材料	修正CBR %	一軸圧縮強さMPa	マージナル安定度KN	その他の品質	アスファルト舗装	再生粒度調整碎石	80以上 [90以上]			PI4以下	再生加熱アスファルト安定処理			3.43以上	フロー値10~40 (1/100cm)	再生セメント処理		材令10日 2.9			再生石灰処理		材令7日 0.98			再生セメント・瀝青安定処理				一次変位量5~30 (1/100cm) 残留強度率65%以上	コンクリート舗装	再生粒度調整碎石	80以上 [90以上]			PI4以下	再生加熱アスファルト安定処理			3.43以上	フロー値10~40 (1/100cm)	再生セメント処理		材令10日 2.0			再生石灰処理		材令7日 0.98			再生セメント・瀝青安定処理				一次変位量5~30 (1/100cm) 残留強度率65%以上
項目	工法・材料	修正CBR %	一軸圧縮強さMPa	マージナル安定度KN	その他の品質																																																										
アスファルト舗装	再生粒度調整碎石	80以上 [90以上]			PI4以下																																																										
	再生加熱アスファルト安定処理			3.43以上	フロー値10~40 (1/100cm)																																																										
	再生セメント処理		材令10日 2.9																																																												
	再生石灰処理		材令7日 0.98																																																												
	再生セメント・瀝青安定処理				一次変位量5~30 (1/100cm) 残留強度率65%以上																																																										
コンクリート舗装	再生粒度調整碎石	80以上 [90以上]			PI4以下																																																										
	再生加熱アスファルト安定処理			3.43以上	フロー値10~40 (1/100cm)																																																										
	再生セメント処理		材令10日 2.0																																																												
	再生石灰処理		材令7日 0.98																																																												
	再生セメント・瀝青安定処理				一次変位量5~30 (1/100cm) 残留強度率65%以上																																																										
293	付表-9.4.5	1列5段目	蒸発残留分 1/10mm	蒸発残留分 %																																																											
		1列6段目	針入度 (25℃) %	針入度 (25℃) 1/10mm																																																											
		1列8段目	貯蔵安定度 (24hr)	貯蔵安定度 (24hr) %																																																											
309	下から5行目		K_p	k_p																																																											

2010/2/4 追加修正

頁	箇所	誤	正
14	表-1.4.1		図書情報を更新
40	表-2.4.4 ひび割れ線上ひび割れ (走行軌跡部縦方向)	わだち割れ	混合物の劣化・老化
52	上から3行目	脆弱化	軟弱化
72	図-3.6.1	<pre> graph TD A{寒冷地域} </pre>	<pre> graph TD A{寒冷な地域か} B[→法令上の用語と区別するため] </pre>
76	図-3.6.3	<pre> graph TD A[多層弾性理論による計算 (ひずみ等)] --> B{i=k} B --> C{経済的評価} </pre>	<pre> graph TD A[多層弾性理論による計算 (ひずみ等)] --> B[破壊規準式による 破壊回数の計算] B --> C{i=k} C --> D{力学的安全性} D --> E{経済性評価} </pre>

舗装設計施工指針 (H18.2) 正誤表 [4/4]

77	図-3.6.4	交通条件 輪荷重分布 車輪走行位置 コンクリート版温度差が正 または負のときに走行する 交通量	交通条件 輪荷重分布 車輪走行位置 コンクリート版温度差が正 または負のときに走行する 大型車交通量の比率
157	表-6.4.1		「平たん性」「浸透水量」の欄を削除
158	表-6.4.2		同上
243	付図-8.2.3		<p>・飽和度のグラフの横軸にアスファルト量を追記.</p> <p>5.0 5.5 6.0 6.5 7.0 アスファルト量 (%)</p> <p>・フローのグラフの点線のアス量 5.3%付近がピークとなるように変更し, ピークに点をプロット. (飽和度のグラフのように) →p.245②にこれに関する説明記述があるため.</p>
243	付図-8.2.3 一番右下のグラフ	空間率	空隙率
298	付表-9.5.1		「平たん性」の欄を削除
299	付表-9.5.2		同上
303	付表-9.5.5		「平たん性 mm」「2.4以下」を削除
311 -312	付表-10.1.1		<p>・「平たん性」「浸透水量」の欄を削除.</p> <p>・〔注2〕を削除</p>
341	上から3行目	路盤のくい込み	路盤にくい込み
	協会出版図書案内の 図書のページ数	舗装設計施工指針→342 舗装設計便覧→338	舗装設計施工指針→345 舗装設計便覧→316

*2010/2/4 追加修正の309頁付式(5.1)の正誤修正については、次ページの【舗装設計施工指針】バージョン管理表(新様式)に移動して掲載。

*以上の正誤内容は、紙図書においては第13刷までに、電子図書においてはVer 1.00で修正・反映済み。

【舗装設計施工指針(平成18年版)】バージョン管理表(新様式)

情報管理 No.	種類	正誤表 No.	ページ	箇所 or 行	誤	正	備考	摘要	電子図書 反映状況	紙図書 反映状況
1	正誤表	1	309	付式(5.1)	$n = \left(1 + \frac{\kappa}{2} \right) \left(\frac{k_a + k_p}{K_{p0} + k_p} \right)$	$n = \left(1 + \frac{\kappa}{2} \right) \left(\frac{k_a + k_p}{K_{p0} - k_p} \right)^2$		2010.2.4掲載	2025.2.7 Ver 2.00	—
2	正誤表	2	138	5-3設計 上から3行目	39kN程度以下の管理用車両	最大積載量が39kN程度以下の管理用車両		2021.4.22掲載	2025.2.7 Ver 2.00	—
3	正誤表	3	68	表-3.5.1 「透水性」の行	水質系材料	木質系材料		2023.10.10掲載	2025.2.7 Ver 2.00	—
4	正誤表	4	69	表-3.5.2 「明色性」の行	石質タイル	石器質タイル		2023.10.10掲載	2025.2.7 Ver 2.00	—
5	正誤表	5	70	表-3.5.3 「予防的維持」の行	アスファルト系材料	アスファルト系材料 (表面処理型)		2023.10.10掲載	2025.2.7 Ver 2.00	—
6	正誤表	6	216	付表-8.1.4 「コンクリート版-鋼材-ダウエルバー-鋼材」の行の摘要欄	JIS G 5112	JIS G 3112		2024.1.22掲載	2025.2.7 Ver 2.00	—
7	正誤表	7	288	1行目「表-3.6.4」	表-3.6.4	表-3.6.3		2024.8.1掲載	2025.2.7 Ver 2.00	—
8	正誤表	8	291	下から9行目	表-3.6.4	表-3.6.3		2024.8.1掲載	2025.2.7 Ver 2.00	—
9	正誤表	9	314	付表-10.1.2 「品質の合格判定値の例」の表番号	付表-10.1.2	付表-10.2.1		2024.8.1掲載	2025.2.7 Ver 2.00	—

【舗装設計施工指針(平成18年版)】バージョン管理表(新様式)

情報管理 No.	種類	正誤表 No.	ページ	箇所 or 行	誤	正	備考	摘要	電子図書 反映状況	紙図書 反映状況
10	正誤表	10	226	付表-8.1.16 「MS-1」列の「蒸発 残留物, タフネス, (25°C)N・m」行の値	—	3.0以上		2026.4.17掲載	—	—
11	正誤表	11	226	付表-8.1.16 「MS-1」列の「蒸発 残留物, テナシティ, (25°C)N・m」行の値	—	2.5以上		2026.4.17掲載	—	—
12	正誤表	12	226	付表-8.1.16 注釈	PK-PおよびPK-Hの蒸留残留物の針入度については15°Cにおける値とする。なお, 夏期に使用するPK-Hの蒸留残留物の針入度は25°Cにおける値とする。	PK-PおよびPK-Hの蒸発残留分は, 360°Cにおける蒸留残留分とする。PK-P およびPK-Hの蒸留残留物の針入度につ いては15°Cにおける値とする。なお, 夏期 に使用するPK-Hの蒸留残留物の針入度 は25°Cにおける値とする。		2026.4.17掲載	—	—